

## 第4回 JCHO宇和島病院地域協議会 議事概要

【日時】平成29年2月14日（火）18:30～19:30

【場所】JCHO宇和島病院 3階講堂西

- 【議題】
1. 中期目標、中期計画（進捗状況等）について
  2. 地域連携室の取り組みについて
  3. 発表『患者・家族の願いを叶える退院支援  
～地域包括ケア病棟での取り組み～』
  4. 意見交換
  5. その他

【出席者】奥田 喜久美（利用者）

梶原 伸介（市立宇和島病院院長）

荃田 仁志（くきた内科クリニック院長）

谷 忠夫（利用者）

友松 孝（宇和島医師会長）

廣瀬 浩美（宇和島保健所長）

毛利 正光（宇和島市保険健康課長）

（以上：五十音順）

渡部 昌平（JCHO宇和島病院院長）

矢野 達哉（JCHO宇和島病院附属老健施設長・副院長）

佐々木 修（JCHO宇和島病院副院長）

富永 康浩（JCHO宇和島病院副院長）

原 いづみ（JCHO宇和島病院副総看護師長）

斧 信之（JCHO宇和島病院事務長）

福島 利房（JCHO宇和島病院附属老健副施設長）

武田 由美（JCHO宇和島病院看護師（発表者））

【概要】

1. 中期目標、中期計画（進捗状況等）について
  - ・経営状況、救急車による受入患者数、紹介率・逆紹介率の推移について説明を行った。
  - ⇒ 質問等は特になし。

## 2. 地域連携室の取り組みについて

- ・退院支援について、地域包括支援センターやケアマネジャーとケア会議を院内で開いて、退院支援に力を入れていただきたい。

- ・知人が退院先に困っているという話を聞いた。自宅に帰るにも住宅改修が必要である。住宅改修に2ヵ月程かかる。退院に向けての手続き、ケアマネジャー、病院等の連携はどのようになっているか教えていただきたい。

⇒ 地域連携室は退院支援担当者を2病棟に1人配置。支援が必要な方には少しでも早く関わっていき、退院前訪問を行い、病院スタッフと一緒に自宅に行き、写真を撮ったり、手すりを付ける場所をアドバイスしたり、自宅に行けない場合、ケアマネジャーに写真撮影を依頼し、相談をさせていただいています。

## 3. 発表『患者・家族の願いを叶える退院支援 ～地域包括ケア病棟での取り組み～』

- ・平均30日で退院とあるが、住宅改修するために市役所に申請し、完成までに2ヵ月かかるが、その間は病院に入院可能か。

⇒ 30日は平均の日数であり、1泊の検査入院の方もおられる。長い方は地域包括ケア病棟の上限60日入院される方もおられる。入院時に介護保険の申請の有無、ご家族の状況、住宅環境等について、お聞きするようにしている。住宅改修が必要、改修しないと退院ができない状況であれば早期に関わらせていただいています。

- ・退院先で「施設」が40%ある。自宅で暮らしたいという思いを達成できるよう、病院・附属老健間での調整をしていただき、病院→附属老健→在宅へと在宅復帰させていただくと地域の方はありがたい。

⇒ 地域性もあり在宅復帰率50%は難しいが、老健としてもできるだけ在宅復帰を目指し、在宅復帰後は通所利用や他のサービスを利用して、病院・附属老健、在宅サービス等を活用し努力しています。

- ・後方支援（退院支援・調整）のデータも病院だけではなく、切り口として病院→附属老健→在宅復帰したケースの件数等のデータがあれば表示していただくとありがたい。

⇒ 検討させていただきます。

#### 4. 意見交換

・今年の1月から救急体制が変わったが、当番曜日（木曜日）の救急患者は増加したか。市民に対して新聞等で当番医をお知らせできないか。

⇒ 現状から言えば当初予想したほど多くはない。

⇒ 新聞等でお知らせすると、JCHOと徳洲会の当番日以外の日に全ての患者さんが市立宇和島病院に集中すると困るためである。ただ、市立宇和島病院への急患は、火曜日、木曜日は随分減っている。効果はある。

⇒ 運用開始して間もないため、市民だけでなく医療関係者・救急の関係者にも誤解があり、混乱している状況である。徐々に理解されてくると思われるが、当番日を新聞等に掲載すると、それが独り歩きしてしまうことを懸念している。

#### 5. その他

当院ホームページでの公開について

①構成員の公開

②議事概要の公開

・当協議会の構成員名簿、議事概要についてホームページでの公開を承認。

議事概要は公開前に構成員に確認し、問題なければホームページにアップする。

上記の議事概要について、ホームページ等で公開することを了承します。

平成 年 月 日

氏 名 \_\_\_\_\_